

グローバルCOEプログラム「次世代シグナル伝達医学の教育研究国際拠点  
-基礎・臨床医学実質融合によるClinician-Scientistの育成-」主催

平成21年11月24日(火曜日)16:00-20:00

会場: 神緑会館 多目的ホール

生体機能は生体を構成する蛋白質の働きによって調節されており、正常な物質代謝が恒常性を保ちながら行われ、生命が維持されている。様々な病気は生体を構成する蛋白質の働きが異常となり、正常な物質代謝が妨げられることから生じる。従って生体を構成する蛋白質(プロテオーム)と、生命を維持するために必要な代謝産物(メタボローム)の「正常」と「異常」を解析することは、病気の原因の本質を知ることにつながり、新たな治療ターゲットの発見につながる可能性がある。また「異常」となった組織から出現する蛋白質・代謝産物は疾患の病態を反映する新たなバイオマーカーとなる可能性がある。しかし、ゲノム解析に比較し、蛋白質・代謝産物総体の解析、すなわちプロテオミクス・メタボロミクスは、それらを構成する成分が複雑多様であることと、増幅させることができないことから、病気に関連するわずかな変化を検出することが技術的に難しいという問題を抱えてきた。

近年の質量分析技術の進歩により臨床マテリアルを用いた蛋白質・代謝産物の解析が行われつつある。本研究会では国内におけるプロテオミクス・メタボロミクスにおける第一線の研究者をお招きし、最先端の研究をご紹介頂く予定である。ポストゲノムの新しいオミクスであるプロテオミクス・メタボロミクスの可能性・発展性を実感して頂ければ幸いである。

## P R O G R A M

### ■セッション1■

16:00- 開会挨拶

竹縄忠臣

(質量分析総合センター センター長)

(神戸大学大学院医学研究科 生化学・分子生物学講座 脂質生化学分野)

16:05-16:35 「質量分析総合センターにおける臨床メタボロミクス」

吉田 優

(神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 消化器内科学分野)

篠原正和

(神戸大学大学院医学研究科 生化学・分子生物学講座 脂質生化学分野)

16:35-17:20 「創薬研究のためのプロテオミクス解析」

長野光司

(中外製薬株式会社 鎌倉研究所)

17:20-18:00 「疾患バイオマーカー蛋白質探索のための新戦略とその展望」

西村 紀

(神戸大学大学院医学研究科 生化学・分子生物学講座 脂質生化学分野 客員教授)

### ■セッション2■

18:00- 「脂質メタボロミクスの戦略と生命科学領域への適応」

田口 良

(東京大学大学院医学系研究科 分子細胞生物学専攻 メタボローム講座 特任教授)

閉会挨拶

清野 進

(質量分析総合センター 副センター長)

(神戸大学大学院医学研究科 生理学・細胞生物学講座 細胞分子医学分野)

講演終了後、研究情報交換会を予定しております。皆様のご参加をお待ちしております。

お問い合わせ先

神戸大学大学院 医学研究科

質量分析総合センター 吉田優までお願いいたします。

TEL: 078-382-5355 E-mail: myoshida@med.kobe-u.ac.jp